

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2...開町110年を迎えて

4...本別きらめきタウンフェスティバル
国民年金コーナー

6...第27年次本別・南三陸

ふるさと交流研修会
復興を願って

10...明日に語りつぐ平和のこぼり
ほんべつ開町110年

12...チャリティー樽生ビア彩
本別ひまわり3000坪迷路

14...子ども七夕まつり
ほんべつ夏まつり仮装盆踊り大会

16...ツール・ド・北海道2011
ラリー北海道

18...物理学者
佐治晴夫講演会
本別町開町110年記念
ほんべつ学びの日夢風事業
ハロー勇足中学校.....19
マイタウン.....20
みんなの健康・銀河ホットライン.....22
ご寄付ありがとうございました.....23
本のある暮らし・わたしたちのまち.....24



かわいい踊りを披露

子ども七夕まつりに訪れた大勢の子供たちが、願いが込められた短冊を柳の枝に飾りつけた後、かわいい盆踊りを披露しました（写真は中央保育所の園児たち）

開町110年 を迎えて

本別町は、明治35年9月15日に本別他五方村戸長役場が本別市街地に置かれ、以来110年の歴史を築いてきました。

これまで、数々の困難に直面してもなお、その経験を糧として地域の結束を強固なものとし、今日の成熟した協働社会を形成することができたのも、町民のみなさまのご理解、ご協力、そして自ら考え、行動する力のたまものと感謝の念を新たにしているところです。

未開の大地を切り開き、幾多の災害に見舞われながらも決して投げ出すことなく、戦禍の焦土から復興を遂げた、強くたくましい開拓精神を持った先人を思い起こしたとき、今日の本別町の発展は、私たちにその誇りと責任が確かに継承されている

ことを教えてくれました。今後は、その誇りと責任を確固たる原動力とし、大きな変革の時代、とりわけ地域主権の進展をきっかけとして、本別町の独自性を惜しむことなく発揮し、町民が主役となって新しい発想によるまちづくりを進めることを目指していきます。町民一人ひとりが輝き、必要とされ、そして笑顔と充実感で満たされるまちをつくり上げるのが、私たちに課せられた大きな責務であることを忘れることはありません。

これまで先人と私たちが築き上げてきた「まちづくり」の実績をしっかりと胸に抱き、未来の子や孫が他に誇れる「ふるさと本別」の建設を目指し、この先50年、100年後を見据えながら一歩ずつ確かな歩みを進め、これから町民のみなさまとともにまちを愛する力を結集し、新しい歴史の1ページを刻むことを楽しみにしております。

本別町長
高橋 正夫

9月14日(水)

ミッチェル・小松島市・本別会
ウエルカムパーティー

9月15日(木)

開拓功労者謝恩祭
開町110年記念式典

開町110年記念事業

- 5月25日 本別町チャレンジデー2011
- 5月31日～ 友好都市徳島県小松島市町民ツアー（6月3日まで）
- 6月1日～ 資料館企画展 ほんべつの開かれる原野（6月30日まで）
- 6月26日 JUNCO&CHEEP 歌旅一座北海道市町村公演2011コンサート
- 7月28日 十勝地区身体障がい者スポーツ大会
- 8月14日 明日に語りつぐ平和の集い
- 9月3日～ 本別きらめきタウンフェスティバル（9月4日まで）
- 9月12日～ 障がい者アート展〈第1部〉（9月26日まで）
- 9月14日 ミッチェル・小松島市・本別会 ウエルカムパーティー
- 9月15日 開拓功労者謝恩祭
開町110年記念式典
- 9月16日 ツール・ド・北海道
- 9月30日 物理学者 佐治晴夫講演会
- 9月30日～ 障がい者アート展〈第2部〉（10月14日まで）
- 11月8日～ 姉妹都市オーストラリアミッチェル市訪問町民ツアー（11月14日まで）
- 11月12日 十勝教育の日 矢崎節夫講演会
- 11月中 資料館企画展 未来に伝える110年のほんべつ
- 3月中 本別町史発行（110年史）

10年の歩み

- 平成13年(2001)
 - 第5次町総合計画がスタート。基本方針「人にやさしいまちづくり」
 - 生涯学習基本計画「歓び実感プラン21」がスタート
 - 「健康長寿のまちづくり条例」を町民参画で制定
 - 開町100年記念事業「ライブセレクション」等盛大に開催される
- 平成14年(2002)
 - 全国生涯学習まちづくりフォーラム本別大会の開催
 - 17種類のごみ分別がスタート
- 平成15年(2003)
 - 道東自動車道・本別ジャンクション、インターチェンジが開通
- 平成17年(2005)
 - 冬の祭典・雪あかりナイトが始まる
 - 道内唯一のモデル地区として2年をかけて「地域福祉計画」を策定
 - 環境省の一般廃棄物処理事業実態調査で本町が道内リサイクル率ナンバー1となる
- 平成18年(2006)
 - 「福祉でまちづくり」が町民の総意で宣言される
 - ふるさと銀河線が廃止、住民の足として代替バスが運行を始める
 - 個性あるふるさとづくり寄付制度を創設
 - 介護保険推進全国サミット本別大会の開催
- 平成19年(2007)
 - 小規模多機能型居宅介護事業所が2カ所で開所
- 「ほんべつ学びの日」宣言
- 本別ブランド「キレイマメ」を発表
- 平成20年(2008)
 - リサイクル率4年連続全道1を達成
- 平成21年(2009)
 - 道の駅「ステラ★ほんべつ」オープン
 - 姉妹都市・ミッチェルへ大規模森林火災への義援金活動
 - 道東自動車道・本別IC―浦幌IC開通
 - 北日本生涯学習フォーラム開催
- 平成22年(2010)
 - 街路灯のLED化進む
- 平成23年(2011)
 - 小規模多機能型居宅介護事業所と共生型地域交流拠点施設が開所
 - 光ケーブルが町内を網羅
 - ジュニアリーダー活動で交流が深い南三陸町の大震災被害への義援金・支援活動
- 本別町開町110年

開町110年 本別きらめき タウンフェスティバル 2011

とき **9月3日(土)→4日(日)**
ところ **利別川河川敷地特設会場**

本別最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が開催されます。今年も盛りだくさんの催し物で来ていただいた方々をお迎えしますので、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会

共催/本別町・本別町農業協同組合・本別町商工会・本別町観光協会・本別建設業協会・
本別町馬事振興会・本別町自治会連合会・北海道新聞社帯広支社・十勝毎日新聞社・
十勝ふるさと市町村圏東北ブロック実行委員会・北海道市町村振興協会
後援/北海道開発局帯広開発建設部・十勝観光連盟・株式会社明治本別工場・
北海道糖業株式会社本別製糖所
支援/陸上自衛隊第5旅団・本別建設業協会二世会

9/3 フログラム

- 午前11時00分ー うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市
浅草「仲見世」の実演手焼き
せんべい限定無料配布
ふわふわランド
- 午後2時30分ー チアリーディング
RED DIAMONDS
- 午後3時15分ー 開会式
郷土芸能
義経太鼓/駒おどり/本別小唄
- 午後3時45分ー ゆるキャラ大集合
- 午後5時00分ー バンドLIVEステージ
オンクルポンド
- 午後7時30分ー **東十勝花火大会**
4500発の花火が本別の夜空を彩ります
小松島市立江煙火保存会
「吹筒花火」

ごみの
お持ち帰りに
ご協力ください

9/4

- 午前10時00分ー うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市
牛乳消費拡大コーナー
牛乳の無料配布は午前10時45分から
(限定200個)
ふわふわランド
- 午前11時00分ー 熱気球体験試乗
(小学生以上1回500円)
- 午後0時00分ー **キャラクターショー1回目**
「海賊戦隊ゴーカイジャー」
牛乳消費拡大○×クイズ
馬とのふれあい広場
・ミルキー号馬車乗車
・ウエスタンホース乗馬体験
・ポニー馬車乗車
- 午後1時15分ー 警察ステージPR
- 午後2時00分ー **キャラクターショー2回目**
「海賊戦隊ゴーカイジャー」
- 午後3時30分ー ゲーム大会
- 午後6時00分ー **歌謡ショー**
キム・ヨンジャ(演歌)
やなわらばー
- 午後8時30分ー 閉会



歌謡ショー
出演：キム・ヨンジャ(右)、やなわらばー(左)
司会：千秋幸雄



©2011石森プロ
テレビ朝日
東映AG・東映

国民年金

その1/3

暮らしを支える 3つの基礎年金

あなたの老後はもちろん、万が一のときに、3つの基礎年金がサポートします。

老後の備えに…

老齢基礎年金

国民年金保険料を納めた期間が、免除期間や厚生年金・共済組合の加入期間などを合わせて25年以上ある人が65歳から受けられます。

●年金額(平成23年度)
年額78万8900円(満額)

※20歳から60歳までの40年間、保険料を納めた場合の金額です。免除期間や未納期間があるときは減額されます

不測の事態に備えます…

障害基礎年金

国民年金加入中の、病気やケガ、あるいは20歳前の病気やケガが原因で障がい

の状態になったときに、一定の要件を満たせば支給されます。

●年金額(平成23年度)
年額98万6100円(1級)
78万8900円(2級)

※初診日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち保険料納付済み期間(免除期間、学生納付特例期間を含む)が3分の2以上あることが必要です

もしも、夫に先立たれたら…

遺族基礎年金

国民年金加入中に死亡または老齢基礎年金を受ける資格期間を満たした人が死亡したときは、その人によって生計を維持されていた子のある妻、または子に支給されます。

※子とは、18歳に到達した年度末までの子か、20歳未満の障がいのある子
●年金額(平成23年度)
年額101万5900円

(子が1人いる場合)
※基本額78万8900円+
子1人の加算額22万7000円

※死亡日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち保険料納付済み期間(免除期間、学生納付特例期間を含む)が3分の2以上あることが必要です

詳しくは

住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128



第27年次 本別・南三陸
ふるさと交流研修会
 兼ジュニアリーダー初級研修会

ジュニアリーダーたちの
消えぬ友情のともしび

東日本大震災で一度はあきらめた交流研修会。しかし、多くの皆さんの支援により苦難を乗り越え、27年目の「本別・南三陸ふるさと交流研修会」が実現しました。今年も、宮城県南三陸町から「南三陸ボランティアサークルぶらんこ」の精鋭を筆頭に17人が来町。本別町からは、本別ボランティアクラブかめを中心に24人の中学生が参加し、8月5日からの7日間、中央公民館を中心に一般家庭でのホームステイや道立足寄少年自然の家に宿泊しながら、交流を深めました。特に今回は、様々な体験活動を通して、この事業がなぜ始まったのか、そのきっかけは何だったのかを再確認するとともに、ジュニアリーダーたちの消えぬことのない友情をさらに強いものとする交流となりました。

27年の絆

8月4日(木)

○南三陸研修団(中学生17人、引率者2人)が仙台港よりフェリーで北海道苫小牧へ向けて出発。

8月5日(金)

○苫小牧港から本別町へバスで無事到着、そして受入式。特に今回は、この事業がなぜ始まったのか、そのきっかけは何だったのか、このふるさと交流を始めるきっかけを作った元社会教育主事の表弘さんから貴重なお話を聞くことができました。

○ホームステイ家族との対面後、市街地婦人会と共栄輪楽生(わらう)会のみなさんの手料理による夕食交流会でおなかいっぱい!

8月6日(土)

○ホームステイ先の家族と過ごす2泊3日(7家庭に協力いただきました)。



8月7日(日)

ジュニアリーダー初級研修会
 1日目(子ども会事業活動の実践)
 ○本別町のジュニアリーダーとともに子ども七夕まつりでの出店のお手伝いをして、来場する子供たちを相手に楽しいひとときを過ごしました。



8月8日(月)

ジュニアリーダー初級研修会
 2日目(野外体験活動の実践)
 ○鹿追町然別湖「白雲山(標高1187m)」登山に挑戦。岩場を乗り越え山頂へ。自分たちで作ったお弁当を頬張り自然を満喫。



8月9日(火)

ジュニアリーダー初級研修会
 3日目(野外・屋内活動の実践)
 ○道立足寄少年自然の家の協力で熱気球体験。
 ○自然体験学校による指導でカヌーにも挑戦。
 ○お昼は焼肉で交流しました。



8月10日(水)

ジュニアリーダー初級研修会
 4日目(町内イベント視察と野外・屋内活動の実践)
 ○「ひまわり3000坪迷路」に訪問。たくさん動物たちとも触れ合うことができました。
 ○本別餅つき保存会十五夜会のみなさんが、炎天下でついたお餅もとてもおいしかった!
 ○最後の夜は、南三陸町で行われているファイアストームの再現。火の国の女神が登場する場面から泣き出す参加者も。



8月11日(木)

ジュニアリーダー初級研修会
 5日目(友情交歓会)
 ○お別れ式ではいつも大泣き。みんなで練習したよさこいソーランも披露。最後の公民館前で再会を誓う「チクチャクコール」。そして、南三陸研修団は本別町を後にしました。また来年、必ずここ本別町で再会できるといいね!



「両町研修団リーダーよこ」



ふるさと交流に参加する度に、両町の絆は時間の長さで深まるものでないと私は実感させられました。本別と南三陸。会える時間は本当に限られているけど、今回の震災で私たちの絆は今まで以上に一層深まったと感じました。私はみんなと笑って泣いたこの夏は一生忘れません。本当にありがとうございました。みんな大好き！

南三陸研修団サブリーター
渡部 有紀 (志津川高校3年)



南三陸ボランティアサークルぶらんこと、本別ボランティアクラブかめの絆は「すごいな」と改めて感じました。「津波のバカヤロー」のせいで、もともとと絆が深まりました！(笑) この絆を壊さないためにも私は南三陸で頑張ります！ 今回の交流研修はとにかく楽しかった。本別のみんなに会えて本当によかった！ また会おうね！ みんな大好きだあ！！

南三陸ボランティアサークルぶらん会長
三浦 ほのか (本吉響高校2年)



震災によって一度離れてしまった心が、研修では惹かれ合うように絆を確かめ合い、今まで以上の深い「何か」を残していった気がします。2つの町が『お互いを支えている』そんな関係であることを改めて実感しました。両町の団体が存在している限り、『私も全力で取り組む』こんな感情を生んでしまうくらい大切な時間でした。決して消えない「絆」で結ばれた私たちは、永遠に続く交流をずっと手を繋いだままいきたいです。

本別ボランティアクラブかめ会長
高田 郁菜 (本別高校1年)



このふるさと交流会は楽しめば楽しむほど成長できなくて、本当なのです。ジュニアリーダー活動をしていると失敗したりして悔やむこともあるけど、高校生として活動ができる時間はまだあるから、これからも全力で活動をします。みんな本当にありがとうございます！

本別研修団統括リーダー
西尾 美姫 (本別高校2年)



今回の交流会で得ることのできたものは2つあります。本別ボランティアクラブかめの苦しみ、南三陸ボランティアサークルぶらんこの迷い、初めて参加する初級研修生たちの戸惑い。でも、そんな中で力を合わせてみんなが全力でぶつかったからこそ、今回の研修会が「達成感」と「感動」を生んだと思います。この交流が、いつまでも両町に残り、これからも根づいてほしいと本気で思いました。今後も初心を忘れず中高生の良さを出していけるような研修会であってほしいと思います。

本別研修団統括リーダー
志戸田 康代 (本別高校3年)

最後に本交流研修会は、本別・南三陸ふるさと交流会支援委員会をはじめ、ホームステイにご協力いただいたご家庭、道立足寄少年自然の家、NPO法人自然体験学校、散策ガイドボランティア「森と川の舎」、本別町市街地婦人会、本別町青年協議会、共栄輪楽生会、JA本別町、本別餅つき保存会、本別町地域子ども会育成連絡協議会、南三陸子ども会育成会連絡協議会、さらに本事業を開催するにあたりご厚志をいただきました皆様など数え切れないほどのたくさんの方々のご協力の下、実現できた事業であったことを、本別町教育委員会、本別ボランティアクラブかめともに深く感謝を申し上げます。

社会教育課社会教育担当

復興を願って

東日本大震災
 南三陸町

「福興市」で焼肉支援

東日本大震災で未曾有の被害を受けた南三陸町を元気づけるため、砂原勝副町長を団長に町職員5人とJA本別町職員2人の計8人が7月31日、現地に派遣中の町職員4人と共に南三陸町で開かれた「福興市」で焼肉支援を実施しました。持参したのは、



町提供のジンギスカン130kgとJA本別町提供のタマネギ50kg、もやし200袋。福興市には、あいにくの雨にもかかわらず、約1万8000人が詰めかけ、多くの人が鉄板で焼かれたジンギスカンでお腹を満たしました。



7/30 4月以降に町民など多くの皆さんから寄せられた義援金149万2852円の目録を、砂原副町長から遠藤健治南三陸副町長に手渡しました。

職員にも笑顔

福興市前日の7月30日には、同町の復旧・復興に携わる町職員やその家族、ボランティア、警察官などに、明日への活力にしようためにジンギスカンと共に、JA本別町女性部の皆さんからいただいた、新鮮なトマトやジャガイモ、キュウリ、ナス、大根など多くの野菜を振舞いました。参加した約270人は、いつもの支援する側から支援される側になり、ほっとした表情を浮かべていました。

南三陸町職員からは「震災後初めて、職員同士の笑顔を見ることができました」と感謝の言葉をいただきました。



南三陸町の復旧状況

水道が99%復旧し、ライフラインはほぼ回復。仮設住宅は、お盆に整備が完了し、全ての人の入居が可能となりました。これに伴い、避難所は8月末で閉鎖することとなりました。

明日に語りつぐ平和のつどい

昭和20年7月15日、十勝最大の空襲被害を受けた本別。戦後66年を迎えた今年、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える「明日に語りつぐ平和のつどい」が8月14日、中央公民館で開催されました。図書館ボランティアあぶつくるの会員7人や本別中央小学校6年生4人による朗読、神田甲陽さんの講演、日色ともゑさんのお話と朗読などが行われ、約150人の来場者は平和の大切さを考える一日となりました。

ヒロシマ・ナガサキ・アンド・ピース

講演 神田 甲陽さん



神田甲陽さんの講演は、平和の祈りを込め、原爆体験を伝えるため創作された「ヒロシマ・ナガサキ・アンド・ピース」。広島で被爆し白血病になった少女の「折り鶴の少女」や長崎の原爆で娘を失った母を描く「嘉代子さくら」、広島に原爆を投下したひとりの米兵と戦場カメランの苦悩などを織り交ぜながら、原爆の惨状を伝えました。



“あのとぎ”を 生きのびた私は…

女優 日色 ともゑさん

日色さんは「あのとぎ」生きのびた私は…」と題したお話と朗読で、昔の経験や体験を語り継ぐことの大切さについて話し、会場に集まった約150人が語りべの世界に引き込まれていました。東京から少し離れた田舎に疎開し、東京大空襲の被災から難を逃れた日色さん。直接体験はしなかったものの、父や叔母から東京の惨状や情景を聞き、この時代を生き延びた以上、その惨劇を語りつ

けなくてはいけないと決心。朗読劇などの活動を通じて、平和の大切さを多くの人々へ伝えていきます。日色さんは詩の朗読を交えながら「戦中戦後生き延びた私の役目は、少しでも語ってコツコツと活動を進めていくこと」とし、「戦争に限らず、自分たちの体験や昔話を子供たちに伝えてください。どんな小さなことでもずつと語り伝えてほしい」と話しました。



- ① オープニングを飾ったオカリナ演奏
- ②③④ 図書館ボランティアあぶつくるによる「特攻隊員」はるかなる大空に祈る」の朗読
- ⑤ 「折風本別大空襲」の朗読
心をこめて朗読した本別中央小学校6年の佐藤さん、西村さん、中野さん、望月さん（左から）
- ⑥ 司会を務めた仙美里小学校6年の加藤さんと岡本くん（左から）



本別ひまわり

3000坪迷路

ひまわり 元気に育った がお出迎え

昨年は口蹄疫の影響でやむなく中止となった、有志による手作りイベント本別ひまわり3000坪迷路（本別ひまわり愛好会主催＝背戸田利光代表）が8月10日から14日までの5日間、「東北がんばれ」をテーマに美里別東中で開催され、太陽の光を浴びて元気に育ったひまわりが来場者を出迎えました。

トラクターでひまわりを刈り取り作られた迷路の全長は約1.5km。迷路の中は、元気に歩いてゴールを目指す人や外周をトラクター幌馬車に乗り楽しむ人などでにぎわいを見せました。

場内には、かき氷やカレーライス、手打ちそばなどを提供する屋台が並んだほか、ポニー乗馬、子ブタやウサギなどの小動物と触れ合うコーナーも設けられ、期間中道内外から来場した約10,700人が、自然との触れ合いを楽しみました。



迷路に挑戦する来場者



トラクター幌馬車に乗り出発！



南三陸町へ 義援金

会場に設置された東日本大震災支援の募金箱に集まった8万2146円が8月16日、宮城県南三陸町への義援金として町に届けられました。



義援金を手渡す背戸田代表(左)

チャリティー

樽生ビアー彩

ビール片手に夏を満喫!!

町商工会青年部（佐藤隆史部長）主催の「第26回チャリティー樽生ビアー彩」が7月23日、役場前町民憩いの広場で開催されました。

この日は心地よい天候に恵まれ、開場とともに詰めかけた多くの家族連れやグループは、フラダンスや「My's」「C HUCKWAGON&TEXAS☆TORNADO」によるライブ、OCTVのPRイベント、豪華景品の当たる抽選会などたくさんのステージイベントを楽しみました。

また会場では、東日本大震災復興支援として南三陸町産のめかぶや復興支援Tシャツを販売したほか、焼き鳥やたこ焼き、クレープなど多くの屋台が並び、集まった人たちは、ビールやつまみを囲みながら、渴いたのどを潤しました。



ほんべつ夏まつり

仮装盆踊り大会



雨を吹き飛ばし

ほんべつ夏祭り事業実行委員会（岡崎勉実行委員長）主催によるほんべつ夏まつり「仮装盆踊り大会」が8月14日、道の駅ステラ★ほんべつで開催され、町内外から一般の部に11団体131人、13個人が出場しました。

今年は、夕方からの雨により子供仮装盆踊りを急ぎよ中止し、一般の部も時間を短縮して実施。参加した踊り手は、趣向を凝らした衣装に身を包み、祭りばやしに合わせて跨線橋の周りを輪になって踊りました。どしゃぶりの雨の中でしたが、会場内は踊りの熱気に包まれ、楽しい夏の一夜を過ごしました。



中央公民館での講演を終えた神田甲陽さん（中央）と日色ともゑさん（左）も応援に駆け付けました

入賞結果（上位のみ）

【団体の部】

優勝＝北5丁目 豆むすめ（北5丁目）
準優勝＝ウラホロサロンコーラス（浦幌町）
3位＝踊りを楽しむ会（足寄町）

【個人の部】

優勝＝中島良子（陸別町）
準優勝＝小沢敦子（陸別町）
3位＝川田洋子（足寄町）



子ども七夕まつり



願いを込め

今年で33回目を迎えた子ども七夕まつり（子ども七夕まつり実行委員会主催）が8月7日、役場前町民憩の広場で開催されました。

会場内には、柳の木に子供たちの願いが込められた短冊が飾られ、バザーコーナーや射的などの遊びのコーナーでは友達同士や家族連れなどが詰めかけ、にぎわいを見せていました。

子ども盆踊りでは、涼しげな浴衣を身にまとった町内の保育所や幼稚園児、小学生など約200人が、やぐらの周りで大きな輪をつくりかわいい踊りを披露。

義経太鼓の演奏やあんどん行列も行われ、最後は花火でしめくくり、夏の夜の楽しいひとときを過ごしました。

防犯ポスター表彰式

平成23年度の「防犯ポスター」表彰式が8月7日、子ども七夕まつり開会式会場で開催されました。受賞者は次の通り。（敬称略）

町長賞＝望月 祥（本別中央小学校6年）
本別警察署長賞＝
布施あかね（仙美里中学校1年）
町生活安全推進協議会長賞＝
飯居 宇 孝（本別中央小学校6年）
社会を明るくする運動町実施委員会委員長賞＝
貝 沼 朱 音（仙美里中学校1年）



写真左から貝沼さん、飯居さん、布施さん、望月さん



30 Sep. - 2 Oct. 2011 Rally Hokkaido

十勝の5市町で開かれる国際ラリー大会「ラリー北海道」(アジアパシフィックラリー選手権第5戦、全日本ラリー選手権第7戦 9月30日~10月2日)が開催されます。今年も、活込から美蘭別、上押帯までの町道と林道が複合する延長10.78kmのスペシャル・ステージ(SS)「本別林道コース」が設定され、最大800人収容の観戦ステージが用意されます。間近でモータースポーツを観戦し、生の迫力を体験してみませんか。

本別林道コース大会日程

スペシャルステージ(SS)競技コース

10月2日(日)

開始予定時間 **1回目(SS14) 午前8時13分**
2回目(SS18) 午後3時09分

前売り観戦チケット販売中!!

ラリー北海道の前売り観戦チケットを、町民向けに販売します。価格は通常2,000円のところ**1,200円**になっています。

※中学生以下は**無料**(保護者同伴必須)

※帯広、音更、足寄、陸別コースのチケットも取り扱っています

▶チケット販売所

・町観光協会事務局(企画振興課商工観光元気まち担当) ☎22-8121

・道の駅「ステラ★ほんべつ」

☎22-5819



本別 ラリーパークへ 遊びに来ませんか

とき **10月1日(土) 正午~**

ところ **道の駅ステラ★ほんべつ**

本別ラリーパークでは、レプリカ車の展示やグッズ・物産の販売を行いますので、多くの皆様のお越しをお待ちしています。

午後3時30分頃、競技中のラリーカーが来場し、全選手が2~3分停車して来場者のサインなどに応じてくれます!!



TOUR DE HOKKAIDO ツール・ド・北海道2011

9月16日から19日までの4日間、道東から道央にかけて約580kmの距離を自転車で走りぬける国内最大の自転車レース「ツール・ド・北海道2011」。

このレースの第1ステージとなる9月16日、帯広市をスタートした選手団が、ゴールの標茶町に向かう途中に本別町を通過します。

選手たちは皆さんの声援を力に変えてゴールを目指しますので、沿道に出での応援をお願いします。

なお、コースとなる道路には警察官や整理員が配置され、選手団が通過する際、一部通行止めをお願いします。周辺にお住まいの人など、ご迷惑をおかけするようになりますが、ご理解とご協力をお願いします。



と き **9月16日(金)**

通過時間 **下記地図の通り**



ご協力をお願いします

競技期間中は混雑が予想されますので、車両の通行はできるだけご遠慮いただき、現場係員の指示に従って競技の安全にご協力ください。

HELLO 勇足中学校

勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える



郷土勇足に根ざし 活力とぬくもりのある学校

今年度勇足中学校は「簡潔でわかりやすい」「開かれていてよく見える」「夢に向かって確かな歩みがある」を学校の合言葉に、学校経営を推進することで「郷土勇足に根ざし、活力とぬくもりのある学校」の実現を目指します。



本別町開町110年記念 ほんべつ学びの日 夢風事業

物理学者 佐治晴夫 講演会

宇宙に学ぶ人生の歩き方

一人間の不思議を考える



宇宙と人間の関わりについて考え、さらに、地球外生命体（E T）を探る意味を含めて、壮大な宇宙の話聞いてみませんか。身近な言葉で「人間とは何か」を優しく語ってくれます。是非、ご来場ください。

とき 平成23年 9月30日(金) 午後7時～

ところ 中央公民館大ホール

入場料 無 料

▶▶プロフィール

1935年生まれ。理学博士。東京大学物性研究所、県立宮城大学教授などを経て、2004年から鈴鹿短期大学学長。大阪音楽大学大学院客員教授。2011年からは学校法人享栄学園理事長を兼任。「量子論的無」からの宇宙創生理論で知られる。NASA（米航空宇宙局）の探査機ボイジャーに宇宙人への地球からのメッセージとしてバッハの音楽の搭載を提案したことは有名。JAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙連詩編纂委員会委員長。現在は宇宙研究の成果を平和教育の一つの所在と位置づけ、全国の学校への授業行脚を行っている。

▶▶主な著書

『宇宙の不思議』『からだは星からできている』『女性を宇宙は最初につくった』『14歳のための物理学』

問い合わせ 中央公民館内 社会教育担当 ☎22-5111

児童館キャンプ 7/25・26

町内の2児童館と北地区交流センター合同の児童館キャンプが7月25日、26日の2日間、美里別地区公民館を主会場に開催されました。参加した町内の小学2年生から6年生27人は、キャンプファイアや魚釣りなどの川遊びを満喫したほか、カレーライス作りにも挑戦するなど、夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



ドッチボールで熱戦 7/27

第52回本別町少年少女体育大会（教育委員会主催）が7月27日、町体育館で開催されました。1チーム7人で対戦するドッチボールには、町内の小学1年生から6年生で構成される5チーム44人が参加。子供たちは、全チームによるリーグ戦で熱戦を繰り広げ、爽やかな汗を流しました。成績は次の通り。

優勝＝ガリガリNo.1（仙美里）
準優勝＝そこそこチーム（勇足）
第3位＝暗黒丸（勇足）



推進します！ ラジオ体操 7/25

本別町・本別町教育委員会・十勝地区ラジオ体操連盟主催による「ラジオ体操・みんなの体操 指導者講習会」が7月25日、町体育館大競技室で開催されました。「健康・スポーツ推進の町」宣言25周年を記念し、宣言された同日に開催されたもので、ラジオ体操の一つ一つの動きの意味を十勝地区ラジオ体操連盟の会員が説明。普段は何気なく行っている体操も、しっかり行うと意外に身体にこたえ、参加した約90人はあらためて事前運動として行うラジオ体操の大切さを学びました。



身体障がい者 スポーツ大会 7/28

第44回十勝地区身体障がい者スポーツ大会（十勝地区身体障害者福祉協会主催）が7月28日、本別中央小学校グラウンドで管内17町村から約550人が参加し開催されました。同大会は管内17町村持ち回りで毎年実施されているもので、本別町での開催は2回目。参加者は、仲間からの声援を受けながら30種競争や交通安全リレーなど6種目ではつらつとしたプレーを展開し、交流と親睦を図りました。本別町は総合11位と健闘しました。



町国保病院運営 モニター会議 8/2

8月2日、第4回町国保病院運営モニター会議が総合ケアセンターで開かれました。一条正彦院長のあいさつの後、事務局から平成22年度の決算報告や外来待ち時間調査結果について報告。委員らは、今後も病院運営やサービス向上のために意見をもち寄ることを確認しました。



パークゴルフで交流 8/4

第28回池北3町老連交流大会第7回パークゴルフ大会（池北3町老人クラブ連合会主催）が8月4日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。この大会は、本別・足寄・陸別の3町が毎年持ち回りでやっているもので、参加した94人は、和やかな雰囲気の中、18ホールで自慢の腕を競い合い、心地よい汗を流し交流を深めていました。成績は次の通り。

※本別町分
【団体】優勝＝本別町
【個人】〈男性〉優勝＝森川国男
第3位＝逸見敏己
〈女性〉優勝＝加藤順子
準優勝＝西出栄美子
第3位＝多賀惇子



アメニティ本別 夏祭り 8/4

施設利用者とその家族、地域の人との触れ合いを目的としたアメニティ本別（長谷川賢理事長）主催の夏祭りが8月4日、アメニティ本別駐車場で開催されました。祭りを盛り上げるために企画された施設スタッフによる余興や盆踊り、花火のほか屋台も出るなど、参加した約200人は楽しいひとときを過ごしました。



本別町チャレンジデー 銀メダルを受賞 8/5

本別町チャレンジデー実行委員会（大西光夫実行委員長）がチャレンジデー2011の銀メダルを受賞し8月5日、役場を訪れ高橋正夫町長に報告しました。銀メダルは、5,000人から9,999人の人口規模の自治体で住民参加率が35%以上61%未満の自治体に送られるもので、本別町は3,475人が参加し41.5%の参加率でした。大西実行委員長は「初参加での受賞はうれしい。健康づくりの一環として、福祉サイドとも連携を取り来年以降も実施していきたい」と受賞の喜びと来年度への抱負を語りました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



南2丁目
岡崎 和香
(智江ママ)



活込
齊藤 翔琉
(美香ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

民謡・三味線発表会 8/20

第35回民謡・三味線発表会（町文化協会・中央公民館主催）が8月20日、中央公民館で開催されました。発表会には、協会に加盟する8団体が出演し、日頃の練習の成果を発表したほか、出演者全員による「本別小唄」の合奏を披露。趣向を凝らした演目に、来場した約150人の観客から温かい拍手が送られていました。



まなびサポート教室 8/8~10

町内の小学1年生から4年生を対象とした学びサポート教室が8月8日から10日までの3日間、中央公民館で実施されました。北海道教育大学釧路校の学生8人が講師となり、子供たちが持ち寄った夏休みの課題や普段の勉強でわからないところを丁寧に指導。参加した延べ52人の児童は、積極的に質問するなど一生懸命勉強に取り組み、自主学習の大切さを学びました。



ご寄付ありがとうございます 平成23年8月10日から8月18日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

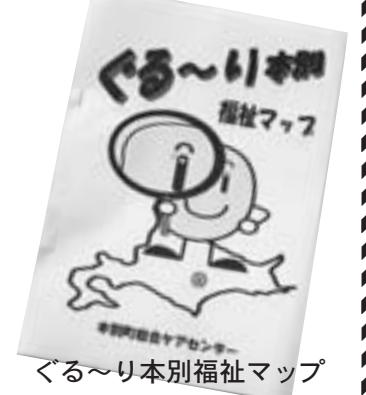
★本別町老人ホーム指定
スイカ 6玉…本別町中央地区自治会連合会 会長 三枝 金作

★本別町教育委員会指定
黒毛和牛ハンバーグ 360個 (1個 150g)
…………… 勇足西5 加藤 寛治

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
★福祉でまちづくり推進事業
金20,000円…北5丁目 豆むすめ 代表 木南 孝幸

みんなの健康

325



今年度総合ケアセンターでは、本別に住みつづけるうえで役立つサービスや地域活動の情報をもとめた冊子、「ぐる〜り本別福祉マップ」を作成しました。地域で生活を続けていくために、は介護保険のような公的なものだけではなく、地域のサポートも必要です。

ぐる〜り本別 福祉マップ

冊子には、高齢者に関するサービスを中心に、介護保険や介護予防サービス、保健・医療サービス、障がい者サービスのほか、身近な在宅福祉ネットワークでのサービス、ボランティアなどの内容が掲載され、名称や概要、窓口を紹介しています。ご自身やご

家族、ご近所の人のことで困りごとや心配ごとがあれば、利用可能なサービスや問い合わせ窓口を探すことができます。かたちとなっています。

福祉マップは行政関係窓口や介護・医療サービス事業所に置かれているほか、自治会にも配布しています。ぜひご覧になって、生活にお役立ていただければと考えています。また、ご希望の人には配布することもできますので、詳しくは総合ケアセンター（☎2219222）までお問い合わせください。

本別町総合ケアセンター
介護支援専門員
佐々木 良祐

銀河ホップアップイベント

足寄町

2011 オンネット物語

神秘の湖オンネットへ過す、初秋のひととき。

□とき 9月25日(日)

午前9時30分〜午後2時

□ところ オンネット 国設野営場

□内容

- ☆自然ふれあい教室
オンネットの散策路で森に親しむ教室を開催します。小学生から大人まで

陸別町

「とがち2011」 フリー開催

2011年JMR北海道フリーシリーズ第7戦となる、陸別サーキット周辺の林道などを利用したフリー（とがち2011）が開催されます。

□ところ 宇遠別イベント広場陸別サーキット

□料金 無料

□問い合わせ 陸別町役場産業振興課
☎2712141

□このからの陸別サーキットスケジュール
10月1日(土) フリー北海道2011
10月9日(日) クロスカントリーイベント

—足寄町・陸別町から—

どなたでも参加できます（9月16日金まで受け付け。また当日会場でも受け付けます）。

① 雌阿寒岳登山コース

② オンネット 湖岸遊歩道コース

③ 湯の滝遊歩道コース

☆フォトコンテスト作品展示

☆オンネットコンサート

☆あしよる観光協会出店コーナー

☆農産物無料試食および特売コーナー

□詳細 あしよる観光協会
☎2516131

□とき 9月25日(日)
午前9時スタート

□この 宇遠別イベント広場陸別サーキット

□料金 無料

□問い合わせ 陸別町役場産業振興課
☎2712141

□このからの陸別サーキットスケジュール
10月1日(土) フリー北海道2011
10月9日(日) クロスカントリーイベント

～とっておきの1枚、募集中～

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

田口夏光^{なつみ} ^{善大} ^{小百合} 7/19 緑町
堀越陽稀^{はるき} ^{勇作} ^{寛子} 8/3 北郷

おくやみ

佐々木寅吉^{とみきち} 82歳 7/19 南4丁目
平賀浪雄^{なみのり} 73歳 7/21 南1丁目
小田和雄^{わかつと} 61歳 7/23 北7丁目
市岡誠之助^{まことすけ} 81歳 7/24 柏木町

ふだん見過ごしてしまう風景や家族の表情も、カメラを通すと新鮮に映り、何気ない写真が語りかけてくることもありますよね。

自分だけのお気に入りの場所、宝もの、大切な人…あなたの好きな「ほんべつ」を、写真にして未来に残しませんか？歴史民俗資料館の企画展「未来に伝える110年のほんべつ」に展示し、資料として保存します。

ぜひ、すてきな1枚をお寄せください。



お散歩中に図書館に寄ったよ



布おもちゃは大人気



カウンターの仕事、やってみたがったの



なんだろう？この道具



絵本って、いいね～



資料館で石うすゴロゴロ

応募については、6月1日号の「かけはし」をご覧ください。

わたしたちのまち

前月比

人口 8,267人(-22)

男 4,074人(-10)

女 4,193人(-12)

世帯数 3,878戸(-8)

〔7月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112